

# 国道219号の跨道橋撤去工事の早期完了を求める意見書

道路は、活力ある地域社会を形成し、真に豊かで潤いのある生活と国土の均衡ある発展を図るための最も基幹的な社会資本であり、その整備促進は地域住民が等しく熱望しているところである。現在、本市においては、各種施策を積極的に推進しているところであり、地域の活性化と交流促進を図るためにも、道路の整備促進が極めて重要である。

国道219号は、本市を貫く重要な路線であり、経済活動や市民生活に密接な関係にある幹線道路として大きな役割を担っている。沿線地域においては生活道路としての機能はもとより、産業経済の振興にとっても当道路の整備促進は必要不可欠である。特に園元地区から市中心部へ向かう跨道橋については、園元バイパスの開通により、市内外へのアクセス道路として、今後、重要な役割を担っていくこととなる。安全で快適な交通の確保のために、この跨道橋の撤去が極めて重要であり、整備が急がれるところである。しかし、跨道橋の撤去に伴う通行止め等の交通規制により、その経済的損失は計り知れず、中心市街地はもとより、周辺部においても活力低下を招く大きな要因となることが予想される。よって、県においては、下記の事項について早急に実施されるよう強く要望する。

1. 沿線地域の市民生活及び経済活動に支障がないよう、園元地区付近の跨道橋撤去工事をできるだけ早期に完了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月18日

宮崎県西都市議会

《 提 出 先 》

宮崎県知事 東国原英夫 殿